

## 海士町における顔認証システムの実証実験について

### 実施主体

海士町内の団体、企業、スマートホテルソリューションズ  
海士町、(株)海士、(株)島ファクトリー、(株)隠岐桜風舎、(一社)海士町観光協会

### 実施場所

海士町内の 7 店舗  
ホテル 2 ヶ所、観光案内所 1 ヶ所、お土産店、産地直売所 3 ヶ所、  
飲食店 1 ヶ所

### 事業目的

隠岐への来島の際、例として 2 泊 3 日の場合、乗船名簿(本土-隠岐間 2 回、島前-島後間 1 回)宿泊名簿(島前、島後各 1 回)レンタカー手続き(島前、島後各 1 回)の合計 7 回の名簿等への記入が必要となる。

- ・名簿記入(個人情報提出)を 1 回で終らせ、情報の共有を行う。
- ・非接触の決済システムの導入。
- ・マーケティングに必要なデータの収集。  
(顧客属性、行動履歴、購入履歴等)

以上のことを解決するには顔認証システムを導入が有効と思われるが、隠岐全体での導入が必要であり、各島、各店舗に導入できるシステムとなっているかどうかの検証が必要となる。

その為、隠岐全体への導入を前提としたテストの位置づけとして海士町に限定して今回の実証実験をおこなうことにした。

### 事業内容

フェリーターミナル内の海士町観光協会にて個人情報、クレジットカード情報、顔情報を登録すると、参加ホテルでのチェックイン、参加店舗での清算が顔認証にて行われる。

#### ・第一段階

町民に登録をお願いし、決済システムの動作確認、各店舗での操作の習熟度を上げる。

#### ・第二段階

ホテルのチェックイン、レンタカーの手続き等個人情報の提出が必要な店舗で顔認証を使用して個人情報を共有し、名簿等の記入の手間、時短をはかる。

### 実証実験の結果

第一段階の決済システムの運用はスムーズに行われ、利用者の満足度も高かった。

#### 利用者からの声

非接触で手軽である。認証スピードが速く待たされることが無かった。スマホ、カードの提出も必要なく便利である。

#### 店舗からの声

慣れるまでは手間どったが、慣れてくればクレジット決済の手間とほとんど変わらず問題なし。コロナ禍の中非接触で決済でき良かった。

第二段階の個人情報の共有については、結果として各店舗間での共有が難しく、今回の実験では検証できなかった。

#### 今後の展開

隠岐全体での運用する視点で判断を行った。

- ・決済システムについては小さい問題は残っているが、大筋で問題なく運用できるレベルと判断した。
- ・今後顔認証システムを導入するにあたっての一番の肝である個人情報の共有が出来なかったため、その点の精査が必要である。
- ・個人情報の共有に視点を絞ってもう一度テストを行う必要があると思われる
- ・顔認証システムありきではないが現在の隠岐の問題点の解決には有効な手段と思われるのでシステムの改修を含め進めて生きた。